

授業概要

幼稚園・保育所などで行われる「子どもを育む保育」とは、一体、どのような考え方に基づいて行われているのだろうか。この授業は、保育の意義や目的、保育の歴史、保育課程、保育制度、遊びと援助などの保育に関する基礎的・基本的な学習を通して、保育者としての自己形成の基礎を培う学習となる。ここでの学びが、保育者としてのこども理解や援助、コミュニケーション力、指導力、協働性等の基礎づくりとなるような講義を進めていく。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	保育の意義と保育所・幼稚園などの役割
第 3 回	保育の思想と歴史の変遷（海外）
第 4 回	保育の思想と歴史の変遷（日本）
第 5 回	子どもの発達特性とこども理解
第 6 回	保育と子どもの環境
第 7 回	保育の方法と基本的な保育姿勢
第 8 回	保育所保育のねらい・内容・原理
第 9 回	保育の計画と評価
第 10 回	保育と健康
第 11 回	保育と安全
第 12 回	保育と子育て支援
第 13 回	保育と社会のニーズ
第 14 回	家庭・地域との連携と評価
第 15 回	保育の現状と課題・学習のまとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

1. 保育の意義、目的、方法などに関する基本原理や考え方を習得し人に説明できる（知識・技能）。
2. 日本の保育の現状や課題について要点をまとめながら小論文や口頭で表現している（思考・表現）。
3. 保育の考え方について、グループ討議や発表に自ら進んで参加しようとする（主体的意欲・態度）。

履修上の注意

単位修得のためには、最低 10 回の出席（無遅刻・無早退の 10 回）が不可欠となる。授業では、グループ協議・発表等を重視する。筆記試験（第 16 回目）は、「小論文」形式で出題する。

予習・復習

予習・復習や授業内容の習熟のため、授業時間外に「課題」を作成し提出する。

評価方法

学期末試験 70%、授業中に課す簡単な課題への回答 10%、レポート 10%、受講態度 10%

テキスト

テキストは使用せず、毎回の講義で必要な資料を配布する。次の参考書も活用してほしい。
『最新保育講座 1 保育原理』（森本史朗・小林紀子・若月芳浩編）・ミネルヴァ書房・2000 円＋税